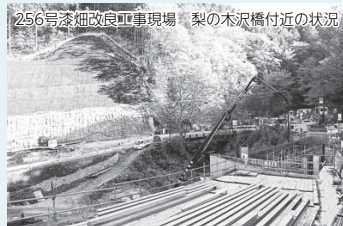


## 国道256号改良促進特別委員会／経済観光常任委員会報告 木曾建設事務所と工事現場の視察・意見交換会

10月26日午後、国道256号改良促進特別委員会と経済観光常任委員会が合同で木曾建設事務所との意見交換会を開催しました。意見交換会に先立ち、現在工事中の現場視察（3か所）を行い、進捗状況と、今後の予定等について説明を受けました。

木曾建設事務所の案内で、国道256号での道路工事木曾川右岸道路の工事状況を視察しました。国道256号では、幸助（漆畑）、社会資本整備総合交付金事業として道路築造、橋台下部工事、メタルロード工事で、工事は順調に進んでいるとのことでした。その他、木曾川右岸道路（町道川向柳野線）、主要地方道中津川田立線（大滝川橋）2か所の現場視察後、木曾建設事務所と意見交換を行いました。



### 【意見交換の一部】

- ・高瀬橋が幅が狭い。広げる考えはないか。→良い方法がないか調査します。
- ・木曾川右岸道路の計画を中津川市まで延長できないか。  
→着手している工期が終了後、新たな工期設定をします。
- ・河川敷の木が大きくなり大雨での増水時、河川氾濫の危険がある。伐採をお願いする。  
→官地内の木は伐採しています。伐採後のストックヤード以降の処分を町で考えてもらいたい。
- ・256号の蘭保育園付近に横断側溝を設置できないか。
- ・中津川～南木曾線に工事中の案内看板の設置をお願いする。

## リニア新幹線対策特別委員会報告 中津川市議会特別委員会と3回目の意見交流会開く

11月10日、中津川市議会リニア対策特別委員会と南木曾町議会リニア対策特別委員会との意見交流会を行いました。この会は毎年1回開催し今回で3回目となり、隣り合う地域におけるリニア計画の状況や課題などについて情報や意見交換をし、共有できる課題や地域特有の課題などの理解を深める機会となっています。

今回は、南木曾町で会議を行いました。それに先立ち中津川市議会の委員のみなさんには、広瀬地区夏虫の非常口と蘭地区尾越の非常口、妻籠水源などを現地視察していただき、岐阜県側の山口非常口からの工事が妻籠水源まで達すること、残土処理については現状では何も決まっていないことなどの説明をしました。

中津川市議会とのリニアに関する交流会での現地視察、広瀬非常口付近



### 【意見交換の内容】

1. 両議長のあいさつ
2. 各議会の委員会におけるリニア対策の取り組み状況
3. 行政側からのリニア計画とそれに付随する事業の進行状況
4. その他

その他の報告では、中津川市から神坂サービスエリアにおけるスマートインター計画について、計画が具体化してきているという説明がありました。

情報交換を通じて、リニア計画への対応は、環境へのリスク対応に重点が置かれている南木曾町の状況と地域振興が優先的に議論されている中津川市の状況が浮かび上がってきました。

一方、道路問題や交通・観光など地域振興に関する課題では共有できる課題も多くあり、引き続き今後も交流していくことが確認されました。

# なぎそ 議会だより

## 委員会報告

### 経済観光常任委員会報告 議員研修 岡山県真庭市、高梁市を視察

11月8日と9日の両日に、経済観光常任委員会の視察研修を行いました。岡山県北部の真庭市と高梁市です。参加者は常任委員以外の議員も含め総勢10名で、全行程をバスで移動しました。

1日目の真庭市では市が支援する民間の「木質バイオマスツアー」コースで、バイオマス原料の集積基地や発電所などを見学しました。ここでは最近話題となっているCLT（直交集成板）材も生産されています。2日目の高梁市では、備中松山城の城下町に残る町並み景観や史跡などの見学をしました。

### 視察記

◆真庭市は、面積の79%が森林で、昔から西日本の木材産業を支える製材業が盛んなところで、木曾と似ています。現在、「バイオマス産業都市」として成功しています。1993年、地元の若手後継者や各方面のリーダー達を中心となり「21世紀の真庭塾」を立ち上げ、未来の真庭について積極的に意見交換や取り組みを行い、バイオマスタウン構想を現実化させました。地元の民間事業者達の活動が主体となって行っており感心しました。更に、真庭市は、バイオマス資源の地域内循環、地域内流通、地域を活性化させるとともに、循環型社会のモデルタウンとして社会に貢献を目指しています。真庭市では多くのことを勉強させていただきました。



真庭市のバイオマス発電所

◆天空の山城と城下町、歴史と文化の薫る町…高梁市。どこかで聞いたような感じがしました。南木曾町妻籠宿から来たかと思えば、「高梁市は妻籠宿のように町並がそろって残ってはいません。ところどころです。妻籠宿は、素晴らしいですね。」と言われました。高梁市の歴史と文化の散策をし、数多く残る史跡が歴史を感じさせてくれました。歴史ある町並を残す難しさを改めて感じました。この研修で学んだことを議会議員活動に活かしていきたいと思えます。

（記：経済観光常任委員長 矢澤 和重）



真庭市役所前で